



会長には村上幸子さんが選任された

市は7月28日、「子ども・子育て会議」を開催しました。第1回となる今回は、委嘱状の交付、会長および副会長の選任、事業計画・会議の概要説明を行いました。関係機関や保護者の代表からの意見を反映させ、子ども・子育て支援制度の実施に生かすことが会議の目的。田面木茂樹教育長はあいさつで「本市でも保育所持機児童の発生など、問題が起こっている。解消のため11事業に取り組んでいるが、皆さんの声を受けながら進めていきたい」と期待を寄せました。

「子育て環境ナンバーワンを実現するために」



本年度の語る会は来年1月まで開催

「市長と地域を語る会」が7月20日から始まりました。地域の代表者である地区振興会の役員などと市長が地域の課題を共有し、地域と市の役割分担を明確にして協働により課題解決を図ろうとするものです。初回の姉妹町振興会（及川時男会長）との懇談では道の駅周辺の利活用が話題に。自主的な活動の展望を語る及川会長に小沢昌記市長は「地域から提案いただくことが大切。率先して力を振るう地域があって、それに対して市も力を尽くしたい」と応えました。

「地域の課題を語り合い共に考える」



百年前の食文化を学ぼう！

明治時代のアイスクリーム復元



大量の塩と水で作られ、氷点下でアイスを作る参加者

明治時代のアイスクリーム復元（牛の博物館主催）が7月26日、同館で開催されました。参加者は、冷却のために大量の塩を使った明治時代のアイスクリームの製法や明治時代に牛乳や肉を食べる文化がひろまったことを学びました。スタッフとしてサポートに加わった中高生らとともに参加した親子18人は、真剣に取り組みながら、終始なごやかな雰囲気で作製を進め、食べ始めるとその美味しさに、笑顔がこぼれました。

加藤奈々さん（水沢小4年）は「現代のアイスクリームも一緒に作ってみたいけど、明治時代のほうが大変だった。食べ比べてみると、明治時代のほうが卵の味が強かった。自分でもう1回作りたい」とうれしそうに話していました。



気迫と熱気が燃え上がる！

奥州前沢よさこいFesta XⅢ

奥州前沢よさこいFesta（同実行委員会主催）が7月9日、イオン前沢店駐車場とアスティ商店会通りで開催されました。

ことしで13回目の開催となるこのイベントに、市内からは13団体が参加。県内外からも集結し、計39団体総勢1000人の踊り手たちが前沢の地で躍動感あふれる踊りを披露。色とりどりの衣装で気温30度を超える暑さを物ともせず、力強く個性豊かな演舞で会場を盛り上げ、沿道の観客を魅了しました。



華やかに、そして力強く踊る地元前沢の紅翔連



急流コースを果敢に攻める

第69回県民体育大会カヌー競技兼みちのくひめかゆカップ

第69回県民体育大会カヌー競技兼みちのくひめかゆカップ2017（県カヌー協会、奥州カヌー愛好会主催）が7月9日、奥州いさわカヌー競技場で開催されました。スラロームとワイルドウォーターの2種目に17人がエントリー。昨年、希望郷いわて国体が行われた国内有数の良コースで熱い戦いを繰り広げました。

この日は、8月5日、6日開催のカヌージャパンカップに向けた審判講習会も行われ、新規4人を含む15人が参加。真剣な面持ちで審判員補助を務めました。



急流コースを漕ぎ下る選手



多数の市民が登場した第2幕の終盤



市民参加の歌劇でお祝いを

Zホール開館25周年記念事業オペラ「ラ・ボエーム」

市文化会館（Zホール）の開館25周年を記念するオペラ「ラ・ボエーム」（市文化振興財団主催）が7月30日、同館で行われました。公演には、ソリストに福井敬さん、プロデューサーに及川貢さんと、2人の奥州大使が参加。観客は美しい歌声に酔いしれました。

市民が参加するZホール開館25周年記念合唱団とZホール児童合唱団なども舞台上に登場。前日の通し稽古は無料招待された市内の小中学生とその家族が観劇するなど、まさに市民が創り上げるオペラとなりました。



「遊びの広場」で子どもたちは、思い思いの遊びに興じた



みんなで楽しく子育て応援

mama ☆ fes2017

Mama☆fes2017（地いき楽しくアイビーナ主催）が7月2日、水沢区のメイプルで開催されました。遊びを通じて子育てを盛り上げようと、多数のワークショップやお店などが参加。2階、1階、地下の3フロアにテーマごとの広場が設けられ、多くの親子連れなどのにぎわいました。

家族4人で来場した江刺区の清水久美さん（34）は「子どもが飽きないのがいい。自分も興味を持てるものが見つかりました」と満喫した様子でした。